

「学習状況調査」の結果をお知らせします

○結果の概要 生徒の学習環境や生活環境を把握するために、全73間からなる質問紙調査(アンケート)が行われました。以下に、全国と比べて、5ポイント以上差があった事柄(質問項目)を示します。

〔本校の良さ〕 (全国を5ポイント以上、上回っているもの)

- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・読書は好きですか
- ・1,2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
- ・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いませんか
- ・1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
- ・1,2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

〔本校の課題〕 (5ポイント以上下回った項目)

- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
- ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがありますか(習い事は除く)
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

○まとめ

3年生は小中とコロナ渦の影響を大きく受けてきた学年であり、一人一台端末など学習方法や生活様式の大きな変化に対応しながら生活をしてきた。本校の生徒の特徴として「将来の夢を持っている生徒」の割合が全国平均と比べて高い。職場体験学習や進路指導などのキャリア教育を今後も進めていきたい。また、朝の会の前に行っている朝読書の習慣が根付いていることから、読書好きの生徒も多い。また、授業でクロムブックの使用などICTの活用を積極的に図っており、ICT機器を使ってのプレゼンテーションを作成することができると自信を持っている生徒が多い。今後も授業において有効と考えられる場面では、より積極的に活用するようにしていきたい。ICTなどの機器の扱いに長けている反面、困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人に対面で相談できる割合が低くなっている。生徒が安心して話せる環境づくりが大切で、教員と生徒での定期的な二者懇談などの実施の他に、保健室やSCなどの相談窓口の明示を行っていく必要がある。また、学習面では、平日の家庭学習を1時間以上している生徒の割合が、58.6%であった。特に3年生は進路実現のためにも家庭学習の改善に取り組ませていきたい。

以上、全国学力・学習状況調査の結果の概要をお伝えしました。良い点が多く確認された一方で課題も明らかになりました。結果を全教職員で共有し、改善に向けて取り組んでいきますので、今後も本校の教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

